

企画提案力を高める公開情報の活かし方

—【実践 Q&A】でマスターする情報収集・加工・解析のプロセスとノウハウ—

- 日 時 2017年11月2日(木) 10:30~17:00 ※12:00-13:00 昼食休憩
- 会 場 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講 師 隈元 光太郎氏 日本アイアール(株)知的財産活用研究所 顧問
〔元 呉羽化学工業(株):現(株)クレハ 知的財産部担当部長〕

●プログラム●

隈元講師からのメッセージ

情報は発想資源であり、日常業務の中で常に活用されるツールです。情報に接したとき、その意味を探ることが仕事の原点となることでしょう。新しい発想を日常の仕事のなかで生産しつづけるためには、情報を解析する思考作業が必要です。今、身近な公開情報を活用してみましょう。情報解析のプロセスは日常業務の中で実践する機会を増やす事で、情報感性は磨かれます。本講座は公開情報を使って「情報解析」という思考作業を学習する講座です。

1. 情報の意味を認識する

- (1) 日常活用する情報源と情報収集手段を意識する(情報の種類)
- (2) 情報が多く、必要な情報が何処にあるか又必要な情報を集める方策
- (3) 身近な情報と未公開情報について考える
- (4) 情報は発想資源である
- (5) 情報感性を磨こう

2. 情報収集と情報解析

- (1) 情報解析の流れとステップを習得する
- (2) 目的意識を持つ
- (3) 切り口を見つけよう
- (4) 時系列テーブルを作る
- (5) マトリックステーブルの活用
- (6) 未来予測能力を身に着ける

3. 誰にでも使える情報源

- (1) 新聞記事と記事データベース
- (2) 企業動向・マーケット情報・政策情報等
- (3) 技術動向、産業動向、社会動向

4. 情報解析事例

- (1) 企業の動きを眺める
- (2) 企業間の提携関係を調べる
- (3) 水素エネルギー時代を探る
- (4) 環境技術の動向
- (5) 新技術の流れと方向

【実践 Q & A】

- ① 業務に有用な情報を見つけるには？
- ② どのような時情報を収集するのか？
- ③ 情報探索の原動力は何か？
- ④ 未公開情報をどのように活用するか？
- ⑤ 身近な情報の活用方法は？
- ⑥ 情報解析のマニュアルはどこにあるか？
- ⑦ どんな情報源を活用したらよいか？
- ⑧ 情報感性とは？感性を高める方法は？
- ⑨ 予測能力を高める方法は？
- ⑩ R&D、事業展開に活かす情報のあり方は？
- ⑪ 情報解析における「切り口」の見つけ方は？
- ⑫ 情報から発想する想像力の力は？
- ⑬ 新聞記事情報の使い方は？
- ⑭ 公開情報の活用のポイントは？
- ⑮ 企業動向を調べる方法は？
- ⑯ 技術動向を知るには？
- ⑰ マーケット情報を調べるには？
- ⑱ 情報解析の具体的事例を知りたい？
- ⑲ 情報サイトの活用方法は？

●受講料● 1名 (税込み、資料・昼食代含む)

正会員	38,880円	本体価格 36,000円
一般	42,120円	本体価格 39,000円

● 当会ホームページよりお申込みください。後日(開催10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

● お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願いいたします。

● 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

● FAXでお申込の際、「0(ゼロ)発信のFAX機」をご使用の場合は、必ず「0」を押してから、番号入力をお願い致します。(別番号への誤送信にご注意ください。)

一般社団法人企業研究会

担当：田中 E-mail a-tanaka@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3512 FAX 03-5215-0951

申込方法 当会ホームページよりお申込みください。 <https://www.bri.or.jp>

171621-0110(※)		2017.11.2	
申込書 企画提案力を高める公開情報の活かし方			
会社名	フリガナ		
住所	〒		
TEL		FAX	
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
E-mail			

*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。